

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

## 教育委員会の点検・評価

(令和4年度対象)

令和5年9月

東庄町教育委員会

## I 教育委員会

### 1. 教育委員会の会議

#### (1) 定例教育委員会 12回開催

各種委員の委嘱・任命、条例・規則・要綱の制定・改廃、行事の後援・共催承認、教科書の採択、就学指導候補者の承認、教育費予算の同意、幼稚園長・社会教育指導員・家庭教育指導員・教育支援センター指導員の任命、学校医等の委嘱、要保護及び準要保護児童生徒の認定、幼稚園に関すること、教育関係施設改修状況、社会教育計画（案）並びに生涯学習・公民館・図書館主催教室、講座（案）等について審議した。

#### (2) 臨時教育委員会 2回開催（9月10日、3月10日）

条例の改正、県費負担教職員の任免その他進退に関する内申を審議した。

### 2. 教育委員の学校訪問

教育委員は独自に小中学校を訪問し、必要に応じて定例教育委員会で報告、協議を行った。また、教育委員学校施設訪問を10月19日に実施し、こじゅりんこども園及び東庄小学校並びに東庄中学校の改修・修繕の必要な箇所を精査し、次年度の予算要求を審議した。

## II 学校教育

### 1. 教育施策

- こども園や小中学校での教育を通して学んだことを豊かにしていくことができる「生きる力」の育成及び社会の中で個性が輝く「人間力」の醸成を図る。
- 子どもたちが主体的に学ぶことのできる環境を整備する。
- 「学校・家庭・地域社会」がより一層緊密に連携し、本町に根付いた特色ある学校づくりを進める。
- こども園・小中学校の校種間の連携を重視し、連続性のある一体教育を目指す。

## (1) 教育内容の充実

- ① 情報化やグローバル化など、急激な社会的変化に対応するために必要な知識や力を身につけることのできる教育を推進する。
- ② 総合学習において、地域との連携を強化し、本町の良さを実感できる教育活動を推進する。
- ③ 子どもたちの「知・徳・体」の向上を図り、個性や能力を引き出していくために、アクティブ・ラーニングなどに取り組み、主体的に学ぶことのできる教育を推進する。
- ④ 地域の農産物に対する理解と関心を高め、よい食習慣や食生活の知恵を身につけるために、食育の推進に努める。
- ⑤ 障害のある児童・生徒に対し、一人ひとりに応じた指導や支援（特別支援教育）のために学習支援員を充実するのに加え、障害のある児童と障害のない児童が可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築を検討する。
- ⑥ 選挙年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、学校教育において、政治的中立を確保しつつ、主権者教育を推進する。
- ⑦ 小学校統合に伴い、教育は地域全体で取り組むものという意識のもと、ミニ集会や学校公開を積極的に行うなど「学校・家庭・地域社会」がより緊密に連携しながら地域一体となった教育の実現を図る。

## (2) 教育環境の整備

- ① ICT機器を活用した授業を展開するための環境整備を行う。
- ② 老朽化した各施設の改修を進める。

## 2. 令和4年度の重点

- (1) 千葉県教育振興基本計画をベースに教育振興を図る。
- (2) 指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学

力をつける。

- (3) 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学力の向上を図る。
- (4) 早寝、早起き、朝ご飯、外遊びの励行により強靱な健康・体力を培う。
- (5) こども園と小学校、小学校と中学校の連携を強化し、交流活動をより多く取り入れる。
- (6) 地域の教育力を生かす。(地域の歴史、伝統文化、工芸、音楽、スポーツ、栽培、読み聞かせ等)
- (7) 子どもの表現力・コミュニケーション能力の一層の向上を図る。
- (8) 読書を励行し「読書好きな子ども」を育てる。
- (9) 安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成する。
- (10) 新型コロナウイルス感染予防対策による対応を行う。

### 3. 学校教育の振興

#### (1) こども園・学校規模

令和4年5月1日現在

校(園)名	児童生徒数	住 所	校(園)長名	職員数
こじゅりん こども園	62	笹川い4713-29	関口喜代美	9
東庄小学校	506	笹川い4713-2	菅谷 忠由	33
東庄中学校	297	青馬1752-1	都祭 史	27

#### (2) 教育相談

奇数月、第2水曜日の13:30~16:00に実施したが、相談はなかった。その他として、こども園・小学校・中学校を通しての相談や巡回相談では、延べ43件の相談を受け、専門機関と連携を図り対応した。

#### (3) 東庄町長期欠席児童生徒対策委員会

東庄町長期欠席児童生徒対策委員会委員の異動があったため、4月1日に3人、1月15日に9人の委員の委嘱を行った。東庄町長期欠席児童生徒対

策委員会を7月25日に開催し、長期欠席児童生徒の指導・助言、防止対策等について審議した。

(4) 東庄町教育支援委員会

東庄町教育支援委員の異動があったため、5月1日に5人の委員の委嘱を行った。委員会を11月17日と1月25日に開催し、心身に障害を持つ児童生徒の継続的な教育支援等について審議した。

(5) 教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議

教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議を2月24日に開催し、要保護及び準要保護児童生徒の認定等について協議した。

(6) 就学援助及び奨励事業

・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費

小学校	要保護児童	2人	
	準要保護児童	10人	781,898円
中学校	要保護生徒	0人	
	準要保護生徒	1人	262,310円

・特別支援教育就学奨励費

小学校	14人	444,521円
中学校	1人	69,015円

(7) 奨学資金利子補給事業

18件	対象融資額	19,151,296円
	利子補給額	313,601円

(8) 奨学基金事業

奨学生	3人	奨学金	1,500,000円
-----	----	-----	------------

(9) 補助金の交付

東庄町教育研究協議会事業	250,000円
東庄中学校生徒通学用ヘルメット購入事業	149,250円
東庄中学校社会体験学習事業	135,000円
地域学校安全推進事業	100,000円

(10) 給食費助成事業

給食費助成事業（小学校）	22,950,817円
給食費助成事業（中学校）	15,237,144円
給食費助成事業（こども園）	2,970,000円

(11) 主な工事関係契約

工事名	工事場所	契約金額 (円)
東庄中学校屋内運動場下屋防水改修工事	東庄中学校	2,915,000
東庄小学校消防用設備修繕工事	東庄小学校	627,770
東庄小学校体育館連絡通路修繕工事	東庄小学校	797,548
東庄町立こじゅりんこども園増築工事	こじゅりん こども園	40,678,000
東庄小学校エアコン設置工事	東庄小学校	781,000
東庄中学校屋内運動場下屋外壁補修工事	東庄中学校	924,000
東庄小学校給水ポンプ交換工事	東庄小学校	955,900
東庄小学校保健室エアコン設置工事	東庄小学校	2,080,000
東庄中学校大規模改修工事設計業務委託	東庄中学校	29,700,000

<p>総合評価</p>	<p>A 目標達成に向けて順調に進んでいる</p>
<p>評価所見</p>	<p>教育施策については、千葉県教育委員会が提示した「第3期千葉県教育振興基本計画」を踏まえて実施した。</p> <p>指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学力をつける取組を行った。教育事務所の指導室訪問、管理課訪問、各校からの要請等に応じたの学校訪問を実施し、教育課程の実施状況を確認し、協議・指導を通して学習指導要領の趣旨を生かした授業づくり、学校づくりを図った。</p> <p>また、教職員の勤務の状況についても確認し、不祥事根絶、働き方改革への取組、ストレスチェックの実施等を含め、適切な服務、職場環境の改善が行われるように指導を行った。</p> <p>県教育委員会や県総合教育センターが主催する各種の研修会は、新型コロナウイルス感染症のため中止となったもの以外の、オンラインで開催された研修には積極的に参加を促し、教職員の資質・向上を図った。</p> <p>増加傾向である不登校児童生徒に対し、集団生活への適応力の向上を図り、在籍する学校へ自信を持って復帰できるよう、関係機関との連携を密にし、支援の方向性について共通理解を図っている。また、県から派遣されている中学校のスクールカウンセラーを町でも雇用し、小学校に配置して相談体制の一層の充実・強化を図った。</p> <p>児童生徒が生命について理解し、健全で自律した行動がとれるように、保護者を含めた関係者が連携し、児童・生徒・保護者・関係者の意識を高めた。また、いじめ防止等のための基本方針についても、保護者へ周知を図るため小・中学校のホームページに掲載した。</p> <p>計画的な就学指導の実施については、特別支援学校コーディネータを依頼し、幼保・学校・健康福祉課との連携を密にし、早期からの計画的な就学指導を実施し、一人ひとり、適切な就学指導の実現に努めた。また、特別に支援を要する児童には介助員や学</p>

習支援員、言語指導員を配置し、個のニーズに応じた支援を行うことにより、一人ひとりの個性・能力が適切に伸びていけるように配慮した。

小中学校の総合的な学習において東庄町に関する歴史や文化・自然に対する学びを深めた。特に中学校では利根川の現地に赴いて調査活動を行いシンポジウムにおいて自然体験学習の発表を行うなど地域への愛着心を育む教育活動を行った。

小学校外国語及び外国語活動では、実施する時間全てに日本人英語講師を配置し、学級担任を主としながら、児童が外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養えるようにした。また、1～2年生についても外国人講師（ALT）を派遣し発達段階に応じて外国語や外国の文化に親しめるようにした。

読書を励行し「読書好きな子ども」を育てるため、様々なジャンルの書籍を整備し、多くの児童が読書に親しめるようにした。また、小中学校ともに書籍の貸出・返却をパソコンで管理するシステムを導入することによって、効率的な貸出・返却作業となり、多くの児童・生徒が短時間で手続きをとることができた。

安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成するため、各校において危機管理マニュアル等について再度確認し、地震等の緊急時に安全な対応ができるよう避難訓練を定期的に実施した。また、通学路の危険箇所について、関係機関と合同点検を実施し、年度内に対策可能な箇所についての安全対策を実施した。また、通学の利便や安全性を確保するためスクールバスの安全運行を継続して実施することができた。

学校評価アンケートを実施し、保護者の意見を基に小学校統合後の諸課題について洗い出しを行い、今後のより良い学校環境づくりへの検討材料とした。

学校・家庭・地域の連携の教育施策を進めるうえで、地域住民及び学校に在籍する児童生徒の保護者の学校運営への参画や、学校運営への支援及び協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民との間の信頼関係を深め、児童生徒の健全育成に取り

	<p>組むための組織（学校運営協議会）の設置準備を行った。</p> <p>こじゅりんこども園については、社会環境の変化等に伴い子育て環境も多様化しているため、園児一人一人の発達の課題に即した指導ができるよう、ことばの教室として使用する部屋と子育て支援ルームとして使用する部屋を増築した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染予防のため、令和4年4月20日～27日、10月17～18日及び令和5年2月2日～3日に東庄中学校を臨時休業とし、令和4年6月17日にこじゅりんこども園を臨時休園とした。</p> <p>これに伴い、小中学校の臨時休業等の際、子どもたちが家庭にいても学習ができるよう、インターネット環境が無い家庭に対しモバイル Wi-Fi ルータを無料で貸出しを行い、全ての児童・生徒が学びを止めない環境を整備した。</p> <p>また、タブレット端末の持ち帰りについても推進を図るとともに、タブレット端末持ち帰りに際してのルールづくりを行い、家庭への周知を行った。</p> <p>加えて、ICT 教育や研修をサポートするため、ICT 支援員を1名配置し、小中学校教職員や児童生徒への教育支援を行った。</p> <p>今後は、校内研修の更なる充実により教職員のスキルアップを図り、ICT 機器を日常的・効果的に活用した学習活動を推進していく。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 評価指標：
- A 目標達成に向けて順調に進んでいる
  - B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
  - C 課題が生じ目標達成は困難である

### Ⅲ 生涯学習

#### 1 教育施策

\* 誰もが生涯学習に参加し、いつでも学ぶことのできる環境づくり

\* 多様な価値観にあわせた生涯学習の機会の提供

##### (1) 青少年の健全育成

○ 子どもたちの地域への愛着と誇りを育み、地域社会の一員としての自覚を高めるため、地域学習を推進する。

○ 多くの子どもたちが興味をもって参加できる事業の開催や、スポーツ少年団などで青少年の健全育成を推進する。

##### (2) 生涯学習推進体制の確立

○ 住民のさまざまな学習意欲を満たす各種講座を積極的に開催するとともに、小・中学生の保護者を対象とした子育ての場として、家庭教育学級の充実を図る。

○ 公民館や図書館の利用促進により、生涯学習を推進する体制を構築する。

##### (3) 芸術・文化活動の展開

○ 文化協会や自主活動団体による芸術・文化活動を支援するとともに、成果を発表する場を設けることにより、活動の活発化を図る。

○ 公民館主催講座等を開催することで芸術・文化に関する意識を高揚し、地域文化の育成を進める。

##### (4) 文化財の保護と活用

○ 文化財の調査・研究を推進し、郷土芸能などの無形民族文化財を維持していくため、後継者育成などの取り組みを進めていく。

○ 文化財の保護と活用を図り、案内板の設置等によりPRを行うとともに、本町の歴史や文化財を次世代に伝承する手段として、観光ボランティアとの

協働で史跡等を巡る活動などの取組みを実施する。

#### (5) スポーツ・レクリエーションの推進

- 競技としてのスポーツに取り組む子どもたちのために、スポーツ少年団などへの支援を行うとともに、町内のスポーツ施設や学校体育館などを活動の場として活用できるよう支援する。
- 町外からのスポーツ合宿により、スポーツによる都市交流を推進する。
- レクリエーションとしてのスポーツについては、住民の健康づくりやコミュニティ醸成など、多様な効果が期待できる意義深いものであることから、関係団体などと連携しながら、誰でも気軽にできる軽スポーツの活動支援やイベント開催などを推進する。

## 2 本年度の重点

### (1) 生涯学習を推進する。

- 青年サークルの充実
- 障害者青年講座の検討
- スポーツ団体の強化

### (2) 芸術文化活動の活性化を推進する。

- 笹川神楽の郡上市特別公演の実施
- 新しい講座の開設と自主団体の育成

### (3) 社会教育施設の活用を促進する。

- 公民館・宮野台運動公園・東城グラウンド・町民体育館・町民神代体育館・町民橘体育館・町民石出体育館・町民東城体育館・スポーツ広場・弓道場の利用推進及び維持管理

(4) 図書館の利用を促進する。

- 行政ポイントの付与
- 図書館だよりの発行

(5) 学校・家庭・地域連携協力推進事業を推進する。

- コミュニティスクールの設置
- 放課後子供教室推進事業の実施と推進
- コジュリン通学合宿の活用

### 3 今日の課題（具体的な実践と協議内容）

- (1) 子どもまつり・各種スポーツ大会・町民運動会・文化祭・コジュリンマラソン等への参加促進
- (2) 各講座における新規利用者の開拓
- (3) 団体の自主運営の促進（グラウンドゴルフ大会、小学生の綱引き大会）
- (4) 中高生が参加できるイベントや講座等の開催
- (5) 社会教育施設の老朽化に伴う整備
- (6) 特別支援学校との連携による障害者青年講座の推進
- (7) 閉校後の校舎及び敷地の維持・管理（旧橘小学校及び旧東城小学校）

### 4 本年度の主な工事関係

※ 主たる社会教育施設維持補修工事

- [公民館] ○公民館大ホール全熱交換器フィルターエレメント交換工事
- [町民神代体育館] ○照明器具（LED）交換工事

## 5 本年度の主な行事

### (1) 実施事業

第46回東庄町文化祭 11月3日 公民館 入場者 1,500人

東庄町二十歳の門出 1月8日 公民館 該当者 124人

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした主な行事

※コジュリン通学合宿 公民館 中止

### (2) 東庄町文化協会

定期総会 4月22日 公民館

会報「東庄文化」第38号 5月発行(4,000部)

文化のつどい 7月3日 公民館 参加者 300名

### (3) 東庄町子ども会育成連合会

定期総会 4月12日 公民館

子どもまつり 5月8日 公民館 中止

子ども会スポーツ大会 10月16日 東庄小学校体育館 中止

### (4) 東庄町杉の子サークル

総会 5月8日 書面会議

クリスマス会 12月18日 公民館 参加者 30人

### (5) 東庄町青少年相談員連絡協議会

委嘱式及び定期総会 4月17日 公民館

環境美化活動 6月26日 町児童館 参加者 20人

青少年のつどいPOPコンテスト表彰式 12月22日 東庄中学校

12月23日 東庄小学校

### (6) 東庄町社会教育委員会議

東庄町社会教育委員会議委員の異動があったため、4月・5月に5人の委

嘱を行った。令和4年10月24日に第1回社会教育委員会議を開催。その後2月10日の第2回を開催し、社会教育全般について審議した。

(7) 町補助金の交付

東庄町文化協会事業	250,000円
東庄町PTA連絡協議会事業	100,000円
東庄町子ども会育成連合会事業	26,842円
単位子ども会育成費(8団体)	120,000円
東庄町青少年相談員連絡協議会	219,547円
東庄町杉の子サークル育成会事業	60,000円

(8) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

千葉県の新規インフルエンザ等対策特別措置法に基づく要請により感染症対策を講じ、実施できる事業を実施した。

(9) 主な工事関係契約

工事名	工事場所	契約金額(円)	施工業者
旧東庄町立石出小学校渡り廊下柱基礎及び堅樋修繕工事	旧石出小学校	781,000	山本建設(株)
東庄町民神代体育館高天井照明器具交換工事	町民神代体育館	8,259,020	高岡電気(株)
旧東庄町立橋小学校浄化槽機械室扉交換工事	旧橋小学校	554,070	宝屋金物
図書管理サーバークラウド化業務	東庄町図書館	1,870,000	東日本電信電話(株)
東庄町宮野台運動公園野球場照明器具交換工事設計業務	宮野台運動公園	2,178,000	(株)千町村建築研究所
町民体育館外3体育館器具保守点検業務	各町民体育館	775,500	セノー(株)

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>青少年の健全育成を図るための事業を展開し、多くの参加者・応募者があった。新型コロナウイルス感染症対策を講じ前年度中止になっていた事業を実施した。青少年のつどいは昨年に引き続き、中学生と小学生を対象としたPOPコンテストを開催し、多くの応募作品を集めた。今後も、東庄町杉の子サークル・杉の子サークル育成会、東庄町青少年相談員連絡協議会等の団体が連携を図る場となるよう思案するとともに、その活動を支援する必要がある。</p> <p>「文化のつどい」や「ふれあいまつり」の文化協会の事業が、新型コロナウイルス感染症対策を講じ実施された。団体紹介のパンフレットを発行し、東庄町文化協会加盟を紹介することによる会員の加入と芸術・文化活動の推進が図られた。今後も、文化協会等の団体育成を図る必要がある。</p>

- 評価指標：
- A 目標達成に向けて順調に進んでいる
  - B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
  - C 課題が生じ目標達成は困難である

## 6 東庄町公民館の運営

### (1) 主催事業

〔放課後子ども教室 8講座〕

- ① 子ども書道教室 36回（第2・3・4土曜日） 憩いの里・公民館  
受講者 55人
- ② 子ども絵画教室 6回 公民館 受講者 44人
- ③ 夏休み映画会 12回 公民館 延参加者 784人
- ④ ヘルスバレーボール教室 1回 町民体育館 受講者26人

- ⑤ 将棋教室 2回 公民館 受講者 12人
- ⑥ けん玉教室 2回 公民館 受講者 43人
- ⑦ ハーバリウム教室 1回 公民館 受講者 30人
- ⑧ 郷土芸能教室 16回 公民館 受講者 8人

[成人学級 9講座]

- ① いきいき書作講座 4回 公民館 受講者 10人
- ② 英会話教室 9回 公民館 受講者 4人
- ③ パソコン&スマホ講座 7回 公民館 受講者 14人
- ④ 歴史教室 6回 公民館 受講者 16人
- ⑤ 陶芸教室 12回 公民館 受講者 2人
- ⑥ 和歌の初心者講座 8回 公民館 受講者 15人
- ⑦ 高齢者教室 ことぶき大学 10回 受講者 85人
- ⑧ 家庭教育学級 小学校 全5回 受講者 147人  
中学校 全5回 受講者 92人
- ⑨ 教育セミナー 全2回 受講者 35人

公民館まつり 2月26日 参加者 400名

玉川奈々福浪曲会 2月26日 参加者 200名

## (2) 公民館利用状況

東庄町公民館（本館）の利用人数は、20,332人（1,349団体）で、神代分館の利用人数は1,368人、石出分館の利用人数は445人となり、3館合計は22,145人、月平均1,845人であった。

## (3) 東庄町公民館運営審議会

町公民館運営審議会委員の異動があったため、4月・5月に5人の委嘱を行った。令和4年10月24日に第1回公民館運営審議会を開催。その後2

月10日の第2回を開催し、公民館事業等について審議した。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

千葉県の新規インフルエンザ対策特別措置法に基づく要請による感染症対策を講じ、公民館利用定員を制限した。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>公民館主催講座は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、子供から高齢者まで対象を幅広く実施し、それぞれ意欲的な参加があった。特に、学校・家庭・地域連携推進事業として、子供の要望に沿った「放課後子供教室」を8講座開催。小学校と隣接する公民館の立地条件もあり、放課後児童クラブと連携が取りやすく、多数の参加があった。</p> <p>公民館は主催事業や部屋の貸し出し、神代分館は陶芸施設として、石出分館は図書の貸出しを、新型コロナウイルス感染症対策を講じ行った。</p> <p>公民館定期利用団体は活動を再開し、新型コロナ感染症対策を講じて開催した公民館まつりで、日頃の学習成果を発表することができた。しかし、新型コロナウイルス感染予防のため一部の定期利用団体、お話しボランティアや料理の団体等は活動ができなかった。</p> <p>今後、分館を含めそれぞれの公民館の特性を生かした、新しい主催講座等を開設するなど、新規利用者や青年層の利用促進等多様なニーズに対応した取組と、団体等の育成に努める必要がある。</p>

- 評価指標：
- A 目標達成に向けて順調に進んでいる
  - B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
  - C 課題が生じ目標達成は困難である

## 7 東庄町図書館の運営

### (1) 実施事業

子ども読書週間スタンプラリー 4月15日～5月16日 参加者 37人

秋の読書スタンプラリー 10月17日～11月11日 参加者 101人

青少年のつどいPOPコンテスト表彰式（青少年相談員共催）

12月22日 東庄中学校 12月23日 東庄小学校 応募者 343人

図書館だより発行 2022年4月号、7月号、10月号、2023年1月号（年4回）

### (2) 図書館利用状況

図書貸出し状況

児童貸出 4,521冊、一般貸出 11,940冊

団体貸出 386冊、相互協力冊数 167冊（合計 17,014冊）

利用者数 8,989人

行政ポイント実績					
※図書館の本を返却時、コジュリンカードへ1冊5ポイント付与					
月	冊数	ポイント	月	冊数	ポイント
4	1,157	5,785	10	1,356	6,780
5	1,221	6,105	11	1,447	7,235
6	1,119	5,595	12	1,262	6,310
7	1,207	6,035	1	1,327	6,635
8	1,226	6,130	2	1,175	5,875
9	1,243	6,215	3	1,271	6,355

(3) 東庄町図書館協議会

町図書館協議会委員の異動があったため、4月・5月に5人の委嘱を行った。令和4年10月24日に第1回図書館協議会を開催。その後2月10日の第2回を開催し、図書館事業等について審議した。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

千葉県の新規インフルエンザ等対策特別措置法に基づく要請による感染症対策を講じ、図書館利用を制限した。

(5) 図書購入費

図書館図書購入費は1,321,750円で、596冊の図書とDVD23本を購入した。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>東庄町図書館と石出分館の2館で図書の貸出しを行っており、利用者の利便が図られている。図書購入予算も余すことなく支出し、書籍の充実を図った。また、子ども読書週間及び秋の読書週間にあわせて「読書スタンプラリー」を実施し、返却者へのコジュリンポイントの発行など利用者がより読書に楽しめる取組みを行った。県内の図書館との貸出、借用を行う相互協力も充実してきている。今年度も青少年相談員共催のPOPコンテストを実施し多くの応募があった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により、「たんぼぼの会によるおはなし会」は4月から12月まで中止となった。今後、図書館だよりの発行を通して、子どもの読書活動推進や利用者拡大の取組を継続していく必要がある。</p>

- 評価指標： A 目標達成に向けて順調に進んでいる  
B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる  
C 課題が生じ目標達成は困難である

## 8 文化財の保護

### (1) 実施事業

歴史教室 6回 公民館 参加者 16人

和歌の初心者講座（常縁集で学ぶ） 全8回 参加者 15人

和田城址看板設置

岐阜県郡上市文化交流事業（郡上東氏800年記念） 記念として、つどいの広場へ看板を設置し、郡上市から寄贈されたモミジ2本を植樹

令和4年11月21日

### (2) 東庄町文化財審議会

町文化財審議会を1月26日に開催し、町指定文化財の指定申請及び文化財案内看板等について審議した。

### (3) 補助金の交付

東庄郷土史研究会事業 100,000円

笹川の神楽 100,000円

笹川神楽保存会 600,000円

※左右大神の神楽 辞退

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>郷土の歴史・文化財等を学ぶ歴史教室を開催し、県内の歴史や文化遺産への関心と理解を深め、伝統に対する誇りと郷土愛の精神を養うことができた。</p> <p>また、岐阜県郡上市文化交流事業（郡上東氏800年記念）として、笹川神楽保存会の郡上市での特別講演の実施、東庄町役場南側つどいの広場では、郡上市から贈呈されたモミジ2本の植樹及び説明看板の設置をした。</p> <p>郷土史研究会のご協力により公民館郷土資料展示室に於いて、「目で見ると天保水滸伝」を展示し、資料が広く一般に公開され、周知することができた。</p> <p>今後も、引き続き文化財の調査と保護体制の充実を図る必要がある。</p>

- 評価指標：
- A 目標達成に向けて順調に進んでいる
  - B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
  - C 課題が生じ目標達成は困難である

## 9 スポーツ・レクリエーションの推進

### (1) 大会や行事、主催教室の実施

家からウオークラリー	5月15日	町内	261人
町民ゴルフ大会	6月13日	東庄ゴルフ倶楽部	69人
ヘルスバレーボール大会	6月19日	町民体育館	7チーム・53人
町民体育大会（クレ射撃）	6月4日	銚子射撃場	19人
（弓道）	7月3日	町弓道場	18人
（卓球）	7月3日	東庄中学校	66人
（バレーボール）	7月3日	東庄小学校	25人
町民運動会	10月9日	東庄中学校	600人

スポーツ少年団交流会 10月25日 東庄小学校 50人

2022 コジュリンマラソン大会 12月 4日 町民スポーツ広場

351人

〔主催教室〕

① らくらくフィットネス教室 14回 公民館 33人

② バドミントン初心者教室 20回 町民石出体育館 13人

③ 健康体操教室 15回 公民館 17人

④ ウォーキング教室 14回 20人

⑤ はじめての弓道教室 15回 2人

新型コロナウイルス感染症対策のため中止にした主な行事

※グラウンドゴルフ大会

(2) 社会体育施設利用状況

宮野台運動公園野球場 利用人数 2,776人(利用回数204回)

〃 テニスコート 利用人数 2,270人(〃 404回)

東城グラウンド 利用人数 4,015人(〃 118回)

町民体育館 利用人数 11,404人(〃 1,250回)

神代体育館 利用人数 1,612人(〃 284回)

橘体育館 利用人数 8,795人(〃 387回)

石出体育館 利用人数 5,739人(〃 438回)

東城体育館 利用人数 970人(利用回数141回)

スポーツ広場弓道場 利用人数 1,573人(利用日数345日)

〃 グラウンドゴルフ 利用人数 3,998人(利用回数293回)

(3) 東庄町スポーツ協会

定期総会 5月7日 公民館

町民体育大会 (クレール射撃)	6月 4日	銚子射撃場
(弓道)	7月 3日	町弓道場
(卓球)	7月 3日	東庄中学校
(バレーボール)	7月 3日	東庄小学校
郡民体育大会 (バスケットボール)	7月 31日	神崎中学校体育館
(弓道)	7月 3日	東庄町弓道場
(ゴルフ)	7月 5日	ゴルフ倶楽部成田ハイツリー
(クレール射撃)	7月 9日	銚子射撃場
(卓球)	8月 20日	多古町民体育館

#### (4) 東庄町スポーツ推進委員会

第1回町スポーツ推進委員会を4月13日に開催し、以降5月12日、6月9日、8月17日、10月4日、3月15日の6回の会議で社会体育の指導・計画等について審議した。

#### (5) 東庄町スポーツ推進審議会

第1回町スポーツ推進審議会を8月10日に開催し、第59回東庄町町民運動会実施計画及びコジュリンマラソン大会の実施について審議した。

9月7日の第2回町スポーツ推進審議会は、書面会議で、町民体育館の条例改正について審議した。

その後、2月10日の第3回町スポーツ推進審議会は、令和5年度社会教育計画について審議した。

#### (6) 東庄町スポーツ少年団

スポーツ教室 11月12日 東城グラウンド 60人

#### (7) 町補助金の交付

東庄町スポーツ協会事業 500,000円

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>各種大会・行事等を開催し、スポーツ活動の推進、普及に取り組んでいる。また、健康づくりの3教室はどれも意欲的な参加があった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じ、前年度中止になっていた事業を実施した。</p> <p>町民運動会については、実施したが参加者の減少が目立った。また地域対抗の意識が薄くなり、今までの運動会の形式では実施が難しくなり、新しい形の事業を模索する必要がある。</p> <p>今年度もスポーツ少年団等にスポーツ施設使用料の減免を行い、利用促進と青少年の健全育成活動の支援を図った。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じ、スポーツ活動の推進、普及に向けて、各種大会・行事等について充実を図る必要がある。</p>

- 評価指標：
- A 目標達成に向けて順調に進んでいる
  - B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
  - C 課題が生じ目標達成は困難である

## IV

### 学校給食センター

新学校給食センターは、令和2年9月から稼働し、給食調理業務や配膳業務等を、給食施設の専門的な知識と技術を持つ民間企業へ委託した。中学校敷地内に学校給食センターを建設したことで、こども園・小学校・中学校への配送時間も大幅に短縮された。これまでの弁当箱方式の給食から食缶方式になったため、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままに、子どもたちのところへ届けられるようになった。施設においても、最新の設備機器とフルドライシステムに対応した厨房機器を配置し、快適な作業環境と食材が交差しない衛生的な作業動線で、いままで以上に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。

また、平成30年4月より、「教育の充実及び子育て支援」の一環として、園児・児童・生徒については、学校給食費の全額助成制度が開始されている。

新学校給食センターにおいても、学校給食用物資の調達や学校給食費の徴収、その他必要な事務を行った。

#### 1. 学校給食センターの運営

##### (1) 主な取り組み

学校給食衛生管理基準に基づき、学校給食従事者の衛生管理と健康管理を徹底し、安心安全な給食を提供できた。

教育の一環である学校給食を「生きた教材」として活用し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせることを目的として実施した。

養豚経営者協議会より寄贈された町の特産品である豚肉を使った献立を実施した。その献立について資料を作成し児童生徒へ知らせた。地域の食材を知らせることで、地産地消に対する興味関心を高めることができた。

令和4年度は東庄中学校が千葉県教育委員会の食育指導推進拠点校に指定さ

れていることもあり、技術・家庭科の授業に栄養教諭が参加し授業公開を行った。生徒が給食献立を考える授業を行い、良い献立は実際の給食で提供した。身近な給食を題材とすることで、栄養バランスの良い食事に対する理解を深めることができた。

(2) 学校給食期間

1学期 4月 7日から 7月19日

2学期 9月 2日から12月22日

3学期 1月10日から 3月23日

(3) こども園・小・中学校の給食数・日数

月	給食数(食)	給食日数	一日平均食数
4月	14,412	16	901
5月	17,637	19	928
6月	20,668	21	984
7月	11,942	12	995
9月	18,517	19	975
10月	19,213	20	961
11月	19,474	20	974
12月	15,857	16	991
1月	15,876	16	992
2月	18,085	19	952
3月	12,432	16	777
合計	184,113	194	949

(4) 学校給食費

こども園園児	日額260円	月額4,500円
小学校児童	日額260円	月額4,500円
中学校生徒	日額289円	月額5,000円

(5) 東庄町学校給食センター運営委員会

東庄町学校給食センター運営委員会を7月15日、2月24日の2回開催し、学校給食センターの運営状況・運営計画・給食費の改定等について審議した。

(6) 給食主任者会議

給食主任者会議を7月19日、1月10日の2回開催し、各種書類の説明や、こども園小中学校からの意見や要望を聞いた。

(7) 東庄町学校給食調理業務委託業者選定委員会

東庄町学校給食調理業務委託業者選定委員会を1月20日、2月21日、3月20日の3回開催し、プロポーザルにより、令和5年8月1日から3年間の調理等業務委託についての優先交渉権者を選定した。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる。
評価所見	<p>令和2年9月から新学校給食センターが稼働し、最新設備の中で、調理業務等を専門知識・技術を持つ民間業者に委託し、食缶方式により、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままに、子どもたちのところへ届けられるようになり、いままで以上に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。</p> <p>学校給食は、生きた教材として活用し、地産地消(千産千消)による献立づくりの推進を図っている。</p> <p>食事内容は、必要とされる栄養量が満たされており、衛生的に安全で量的にも満足されるものが提供されている。</p> <p>2回の東庄町学校給食センター運営委員会において、運営状</p>

	<p>況・運営計画等について審議した。</p> <p>3回の東庄町学校給食調理業務委託業者選定委員会において、プロポーザルにより、令和5年8月1日から3年間の調理等業務委託についての優先交渉権者を選定した。</p> <p>今後も引き続き、施設の維持管理及び衛生管理を徹底し、安心安全な給食の提供に努めていく。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 評価指標：
- A 目標達成に向けて順調に進んでいる
  - B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
  - C 課題が生じ目標達成は困難である